

徳島県立脇町高等学校で蚊の生体を使った授業を実施

8月21日（木）、徳島県立脇町高等学校の1・2年生約30人を対象にオンライン授業を実施しました。生徒たちは兵庫県赤穂市にあるアース製薬の研究所 生物飼育室をバーチャル見学した後、研究部の有吉立マイスター・浅井秀一係長・瀬島愛係の助言のもと、蚊の生体を使った誘引実験を行いました。また授業の後半には、マダニが媒介する感染症とその正しい対策方法についてもレクチャーがありました。

当社は、徳島県と包括連携協定、及びワンヘルス推進に向けた連携協定を締結し、蚊やマダニ等の害虫が媒介する感染症の予防・啓発について連携を進めています。



オンラインにて当社研究員がレクチャー



徳島県の配布している資料
「知ってる？ワンヘルス」